

## 問に答ふ

□一 グワツシとは如何なる畫にや二 茂れる木の葉間にある極めて暗き蔭の色は何なりや、三 透視畫法の距離點とは如何なるものによ(田井子)◎一 具入り繪具(白の混じたる繪具)を以て畫くもの、乾いてから色の變るため不馴のうちには困難なれども、修正が出来るゆへ水彩畫よりも習ひよからん二 多くブラオンマダー、パアントシーナ、クリムゾンレーキの類を用ふ三 中視點と畫者の止點迄との距離を水平線上に測りて得る點なれば、距離點といふよりは、實は四十五度の消點と云ふに至當とす■ワツトマン紙の水貼法を問ふ(政兒)◎紙の表裏共海綿にてよくぬらし(或は水中に入れて)捲きても戻らぬ位に紙の伸びたる時、畫板の上へ乗せ細くきりたる丈夫の紙に、硬き糊をつけて、紙の縁を畫板に貼つけるなり、此際紙の縁が濡れてゐると糊が利かぬ故、乾いた布切にて拭ふをよしとす■本會々友の作物展覽會は何故開かれぬにや(シンヤ生)◎多忙のため當分むづかし■會友と地

方講習生との相違を知りたし(一讀者)◎地方講習生は作品の批評及添削を受け且描法の説明をきくとを得べし、會友は批評を受くる繪の數に制限あり又添削を受くるを得ず■一 寫眞を送つたらみづみに掲載して貰へますか二 丸山大下兩先生の御住所を問ふ(花輪ハーバード生)◎一 繪の寫眞ならよいものは掲載します實景の寫眞は御斷り二 丸山氏は本郷區駒込神明町十四番地、大下氏は小石川區目白坂■油繪を水彩畫に直すことを得るや(杉山令三)◎油繪を水彩畫で模寫することを得るやとの意なら無論出來ます、よい油繪を水彩畫で模寫するのは中々利益の多いものでず

## 讀者の領分

■忠實なる自筆水彩繪ハガキの交換を乞ふ何卒畫面に文字記入を望む(筑後瀬高町下庄、高巢善太郎)■文房堂發賣ブリキ製懷中スケツチ箱(定價八十五錢)譲りたし、美術文學の書類と交換してもよろし(青森縣三戸町、松尾大作)■三宅氏の水彩畫手引と太田氏のスケツチ畫法と『みづゑ』の第一

とを僕が出すから『みづゑ』三十五號から四十號迄の六冊と交換を願ひたし(備後東城町、佐々木真太郎)■自筆繪ハガキ交換希望(秋田市四町目河反若松、大平童)

## 編者より

◎住田氏へ『湊の濱』の空はよし、浪の蔭の色重きに過ぐ、遠き帆はモット判然と見ゆる筈なり。『生駒の曉』は空の色重く且濁りて朝の冷やかなる感を欠く、山もあまり近く野に遠近の別見えず『朝』は面白き出來なり、衣服が少し硬きやうなり、肉色は佳なり◎佐々木氏へ 地方講習生の授業料は割引は出來ません

□方寸十月號には、森田氏の『水邊』織田氏の『白き花』小杉氏の『習作』石井氏の『灘の酒藏』溫泉場『大谷』山本氏の『桑摘』三上氏の『畫學』等の挿畫及、趣味あり利益ある美術上の文章を滿載せり(十二錢、本郷駒込千駄木林町方寸社)